

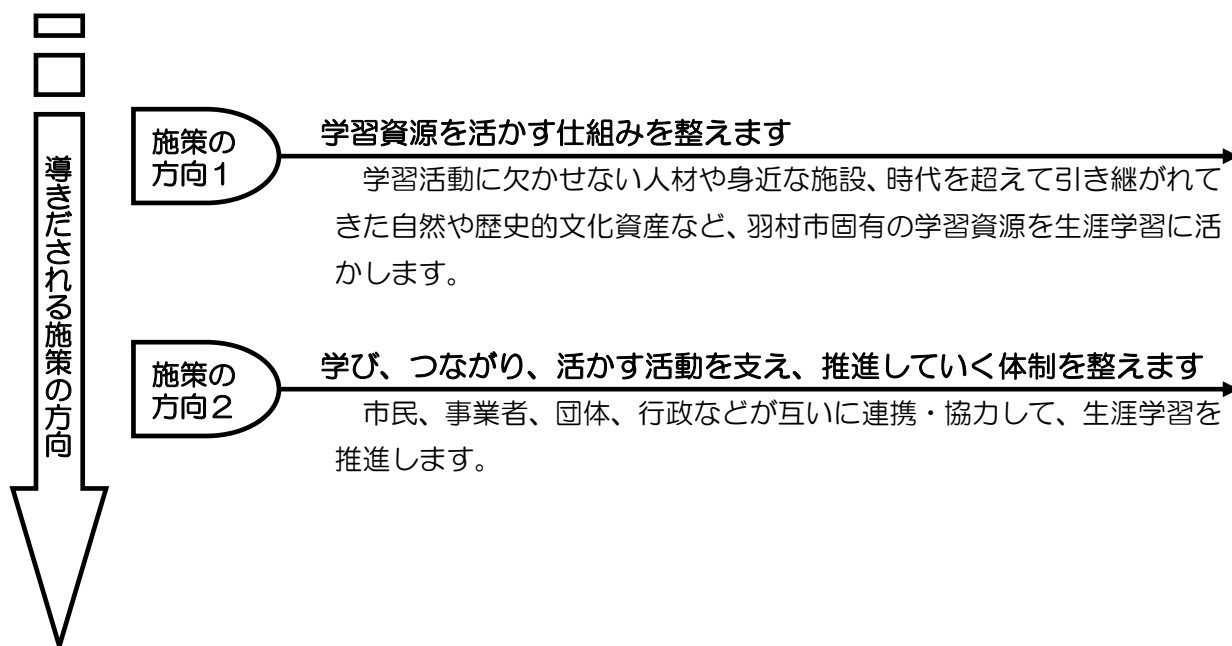
ライフステージ別施策の推進を支えるために

ライフステージを通じて学習の機会や場を設定し、そこで行われる学習活動を通じて得られた成果を活かしていくために、施策事業の推進に必要な学習基盤と体制の充実を図ります。

学習基盤と推進体制の充実

取り組みの方向

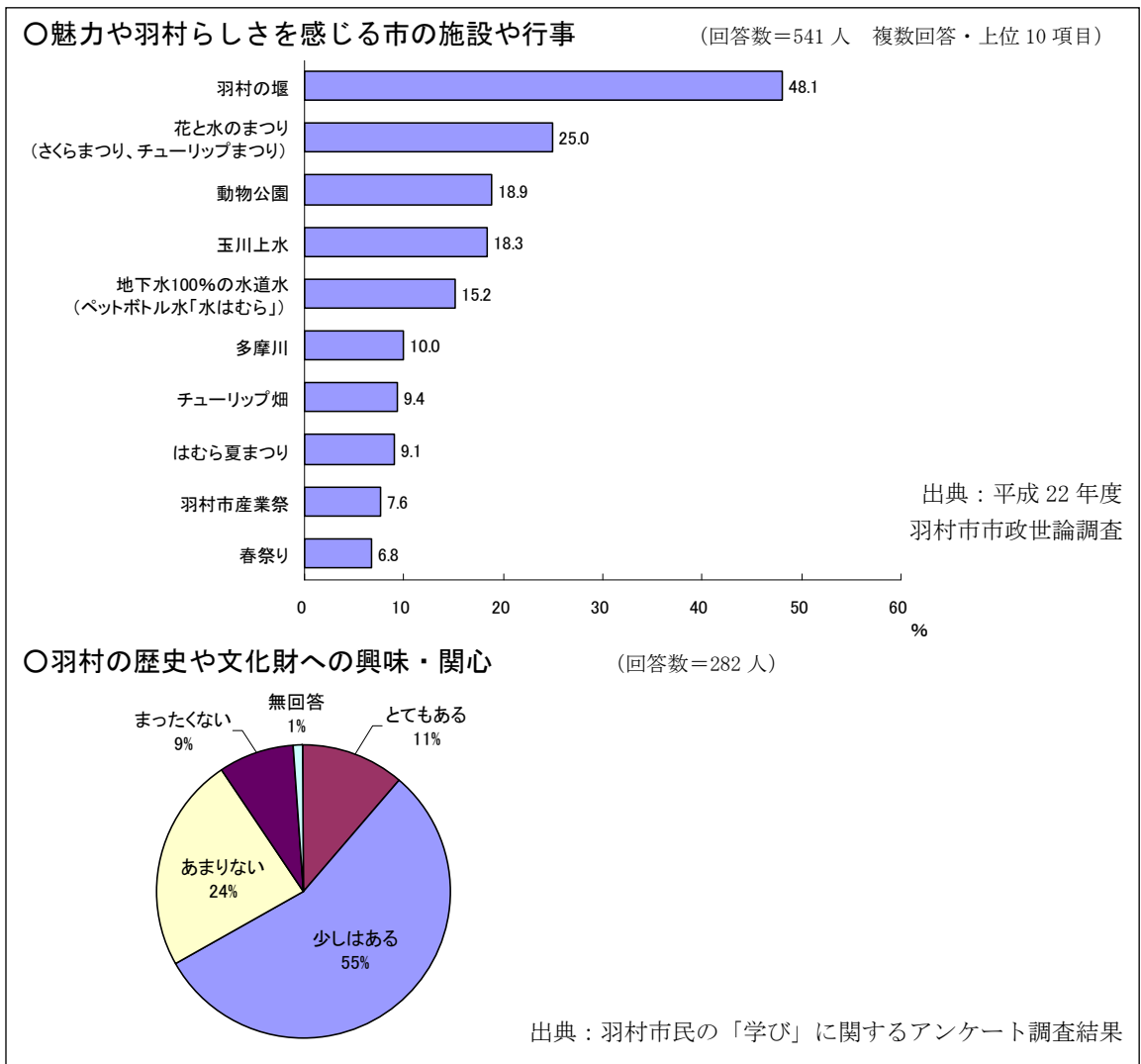
- ・生涯学習を支える人材の育成と活用を図っていく必要があります。
- ・生涯学習センターゆとろぎ、図書館、郷土博物館、少年自然の家、スポーツセンター、スイミングセンターのほか、コミュニティセンター、学校、保育園、児童館、保健センター、福祉センター、動物公園、学習等供用施設・地域集会施設、自然休暇村清里等の生涯学習関連施設の有効活用を図り、各施設が学習の成果を活かす場の提供を行っていく必要があります。
- ・生涯学習に関する情報を市民に効果的に提供して学習活動への参加を促進するとともに、生涯学習活動を通じて得られた市民の意見を事業に反映させていく必要があります。
- ・生涯学習を推進していく団体を支援するとともに、団体相互の連携・協力を図り、総合的に生涯学習を推進していく仕組みを整備する必要があります。



施策の **学習資源を活かす仕組みを整えます** 方向1

現状と課題

- ①様々な分野で市民個人として、また、地域活動団体や市民活動団体として活発な活動をしていますが、学習の成果を活かし、地域や社会に還元する人材として、それらの活動の中心となる指導者や協力者などの存在が重要となることから、その育成と活用を図っていく必要があります。また、生涯学習関連施策を支える専門的な職員の養成と活用を図っていく必要があります。
- ②学校における学習活動、個人的な趣味や教養、仕事や経験などを通じて市民が身につけた様々な知識や技能などの成果を活かし、発揮できるよう、社会に還元できる支援の内容を集約し、人材情報として活用を充実していく必要があります。
- ③学習活動の拠点である生涯学習関連施設が学習の成果を活かす場となるよう学習機能の向上を図るとともに、個人による利用の拡大など効率的な活用方法を工夫することにより利用を促進していく必要があります。
- ④学習活動に欠かせない自然や文化財など、時代を超えて引き継いできた羽村市固有の学習資源を活用し、次世代につなげていく必要があります。



推進施策

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
1	人材の育成と活用 【現状と課題】 対応No.①	あらゆる学習活動において、活動意欲を育み、円滑に活動しやすくするための指導者や協力者を研修や講座等で育成し、その修了者の活用を図ります。また、専門性を求められる生涯学習関連施策に携わる職員の配置や研修等の充実を図ります。	【相互関連】 ↔ 全ステージ
	主な計画事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツリーダー養成講習会の実施 ・生涯学習コーディネーター養成講座の実施<<新規>> ・登録郷土研究員制度*1の活用と人材の育成 ・体験活動に携わるリーダーの育成 ・生涯学習まちづくり出前講座の実施 ・生涯学習関連施策の推進に向けた専門職員の養成と活用 		

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
2	人材登録制度の充実 【現状と課題】 対応No.②	生活や仕事で培った豊富な経験や専門知識・技能など、学習の成果を地域社会で活かせるよう、人材バンク「はむら人ネット」への登録制度の充実と活用を図ります。	【相互関連】 ↔ 全ステージ
	主な計画事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・登録に向けた地域活動団体や市民活動団体、教育委員会表彰者等への働きかけ ・公募による登録と活用の呼びかけ ・学校や地域における活用に向けた積極的な働きかけ 		

*1 登録郷土研究員制度：P91 参照

学習基盤と推進体制の充実 施策の方向1

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
3	地域活動・市民活動のニーズに応えるコーディネート機能の充実 【現状と課題】対応No.②	生活や仕事で培った豊富な経験や専門知識・技能などを地域社会で活かせるよう、新たなサークルの立ち上げや活動先の紹介、ボランティア等の利用希望に応えるコーディネートなどの支援を行います。	【相互関連】 ↔ 全ステージ
	主な計画事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域活動・市民活動に伴う相談窓口の設置 ・ 学習や活動の成果の提供と利用に伴うコーディネート業務の実施 ・ 新たなサークルの立ち上げにかかる支援 ・ 人材バンク「はむら人ネット」登録制度充実と活用 		

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
4	学習拠点の有効活用と利用促進 【現状と課題】対応No.③	生涯学習センターゆとろぎやコミュニティセンター、地域集会施設、学校など、市民誰もが学習活動の場として利用しやすいよう、施設の有効活用と利用促進を図ります。	【相互関連】 ↔ 全ステージ
	主な計画事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会教育施設等の利用促進 ・ 芸術文化施設の個人利用の促進 ・ 学校施設の利用促進 ・ 学習等供用施設や地域集会施設の利用促進 ・ 青少年の体験活動の充実に向けた自然休暇村ハヶ岳少年自然の家の積極的な活用 ・ 市内にある高校、企業が保有する学習施設・スポーツの利用促進 ・ インターネットを活用した生涯学習関連施設の利用及び事業参加申込 ・ 自治体間の広域連携による施設の相互利用の促進 		

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
5	歴史的文化遺産の保存と活用 【現状と課題】 対応No.④	縄文時代から続く歴史や文豪中里介山 ^{※1} を生んだ文化、まいまいず井戸 ^{※2} や玉川上水 ^{※3} などの史跡等、羽村市固有の歴史・文化を学習し、次世代に伝えていくため、郷土の貴重な歴史的資料を収集・保存し、活用できるようにしていきます。	【相互関連】 ↔ 全ステージ
	主な計画事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財の保護と有効活用 ・歴史文化資料の収集、保存、活用 ・学校教育における積極的な活用に向けた連携・協力 ・市史編纂に向けた資料の収集と人材の確保 		

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
6	自然環境の活用と継承 【現状と課題】 対応No.④	地域に生息している生物や植物、多摩川や湧水、緑地などの資源を活用した学習を深め、よりよい状態で次世代へ伝えていきます。	【相互関連】 ↔ 全ステージ
	主な計画事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・動植物の生息状況の把握と活用 ・根がらみ前水田の活用と継承 ・緑地や崖線の活用と継承 		

目標指標

	指標名	現 状	目 標（平成28年度）
指標1	市民に直接指導・支援した社会教育関係団体の数	—	30団体
指標2	人材バンク「はむら人ネット」の登録者数と利用者数	27人/0人 (平成22年度)	100人/25人

※1 中里介山：P34 参照

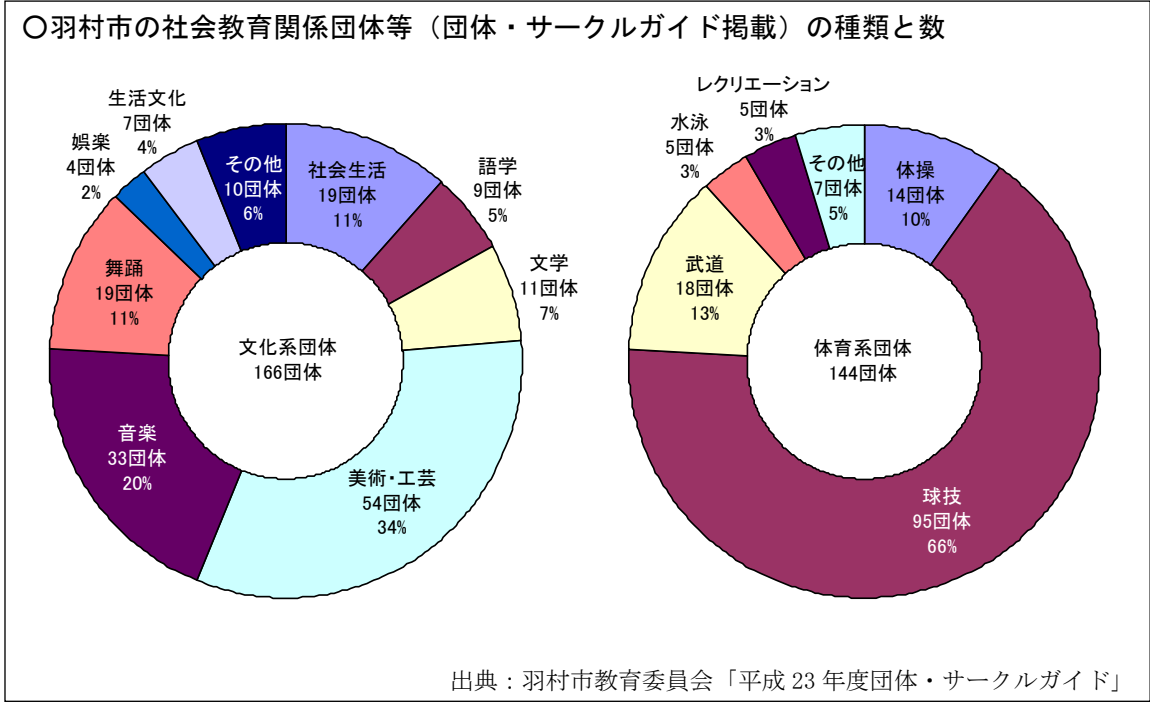
※2 まいまいず井戸：P34 参照

※3 玉川上水：P34 参照

施策の 学び、つながり、活かす活動を支え、推進していく体制を整えます 方向2

現状と課題

- ①市民が個人として、また、町内会・自治会、青少年対策地区委員会、PTAなどの地域活動団体やボランティア団体・社会教育関係団体等の団体の一員として、活発な学習活動を行っていますが、今後は人と人、団体と団体が連携・協力して、より充実した活動の展開が図れるよう体制をつくっていく必要があります。
- ②生涯学習に関する様々な情報を市民に適時、効果的に提供することにより、学習活動への参加や施設利用を促していく必要があります。
- ③本計画策定前には、実態調査を実施していますが、今後は定期的にライフステージ別にアンケート調査を実施し、施策の定着度やニーズ等の把握に努めていく必要があります。
- ④行政の内部で、また、行政と生涯学習を推進している団体や関係機関との間で、施策事業の進行管理、点検・検証・評価を行い、総合的に生涯学習の推進を図っていく必要があります。



推進施策

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
1	地域活動団体・市民活動団体の活発な活動に向けた支援 【現状と課題】対応No.①	各種団体が活発な学習活動を展開できるよう、加入者の増員や活動状況の周知、組織体制の強化などの支援を行います。	【相互関連】 ↔ 全ステージ
	主な計画事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 団体・サークルガイド等の充実 ・ NPO 法人化に向けた団体・サークルへの支援 ・ 行政と団体との協働による事業の推進 		

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
2	地域活動団体・市民活動団体間の連携・協力に向けた支援 【現状と課題】対応No.①	活動の成果を発揮し、さらに活発な活動を展開していくため、団体相互の連携を深め、自主事業の企画運営、社会貢献活動や公益活動を行っていただけるよう支援します。	【相互関連】 ↔ 全ステージ
	主な計画事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 団体間の連携に向けた市主催事業の活用 ・ 地域活動団体連携協議会の設置<<新規>> 		

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
3	生涯学習情報の提供 【現状と課題】対応No.②	生涯学習に関する様々な情報を集約し、市民に効果的に提供することによって、関連事業への参加と生涯学習関連施設の利用促進を図ります。	【相互関連】 ↔ 全ステージ
	主な計画事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種広報紙（「広報はむら」「はむらの教育」「きずな」「消費生活センターだより」「ゆとろぎイベントガイド」）の発行 ・ ホームページの充実 		

学習基盤と推進体制の充実 施策の方向2

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
4	生涯学習の推進に向けた市民ニーズの把握 【現状と課題】 対応No.③	計画の定着度、意識や実態、ニーズ等の現状把握ができるよう、事業の終了後には事業対象者の年代を意識したアンケート調査を実施するとともに、計画を見直す際には事前に市民や関係団体に対して、ライフステージを踏まえたアンケート調査を実施します。	【相互関連】 ↔ 全ステージ
	主な計画事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施に伴うアンケート調査の実施 ・生涯学習アンケート調査（市民対象）の実施 ・生涯学習アンケート調査（団体対象）の実施 		

No.	施策名	施策内容	対応ステージ等
5	生涯学習推進体制の充実 【現状と課題】 対応No.④	市全体で総合的に生涯学習を推進していくために、計画した施策・事業の着実な実施を検証し評価する体制を整備し、機能の充実を図ります。	【相互関連】 ↔ 全ステージ
	主な計画事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習推進本部（仮称）※¹による進行管理 ・生涯学習推進会議（仮称）※²による検証・評価 ・生涯学習関連施設における運営状況に関する外部評価の実施 ・生涯学習基本計画に基づく施策事業の進捗状況調査の実施 		

目標指標

	指標名	現 状	目 標（平成28年度）
指標1	事業後アンケートの満足度	—	80%
指標2	計画事業の進捗度	—	100%

※¹ 生涯学習推進本部（仮称）：市長を本部長とし、副市長及び教育長を副本部長、部長職を構成員とする庁内推進組織。この計画の進行管理や点検を行い、生涯学習推進会議による検証・評価を踏まえて見直しを行うとともに、生涯学習関係施策全体の総合的な推進と調整を行う。

※² 生涯学習推進会議（仮称）：知識経験者、地域活動団体や市民活動団体の代表者、学校教育関係者、市民公募委員などで構成される市長の付属機関。この計画の検証・評価を行い、見直しや変更に関することや、生涯学習関係施策の充実・推進に関することについて、調査・検討し、市長に報告または提言する。